

印刷物作成の手引き

男女共同参画の視点から

その表現、ちょっと 考えてみませんか？



金沢市

はじめに

男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の推進が必要です。そのためにも、「男は仕事、女は家庭」というように性別で生き方や役割を固定してしまう意識(固定的な性別役割分担意識)は、男性にとっても女性にとっても、多様な生き方を選択する上で障害となる場合があります、見直していく必要があります。

みなさんに共感を得られる広報のために

企業や行政が発信する情報は、人々の意識に大きな影響を与える力を持っています。広報活動において男女共同参画の視点に立った表現をすることにより、男女共同参画社会の実現へ一歩前進することができます。全ての人に等しく伝わり、共感を得られる広報活動の手引きとして、広く活用いただけることを願っています。

印刷物作成の際の提案です

この手引きは、特定の表現を禁止したり、その表現の是非を論じるものではありません。これまで何気なく使っていた表現に男女共同参画の視点も取り入れ、より効果的で豊かな発想の手がかりとなるよう、提案するものです。

刊行物を作成する際には、この手引きを活用いただき、「男女共同参画社会」を描く新しいイメージを発信していただければ幸いです。

※インターネット上のホームページを作成したり、新聞、テレビ、ラジオを通じて広報を行う場合にも、ご活用ください。

CONTENTS

1	男女どちらにも伝わりますか？ 男女が登場していますか？	2
2	性別でイメージを固定していませんか？	3
3	男女を対等な関係で表現していますか？	5
4	人の目を引くために、女性をむやみに「飾りもの」にして使っていませんか？	6
5	男女で異なった言葉を使っていませんか？	6
	印刷する前に、もう一度チェック！	7

1

男女どちらにも伝わりますか？ 男女が登場していますか？



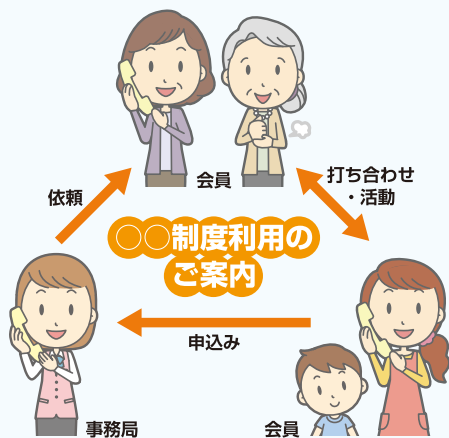
▶ 男性も女性もいます。

伝えたい内容が、男女双方を対象としているのに、男性だけ、女性だけが対象であるかのような偏った表現になっていませんか？ 男性だけ、女性だけを対象とする広報は、本来それほど多くないはずです。例えば、男性をイメージする言葉やイラストを使うと、女性は自分が対象でないと感じるかもしれません。

また複数のイラストが掲載されたパンフレット等を作成する場合には、全体を通じて、登場する男女のバランスや男女の多様な描写に配慮しましょう。

男性だけ、女性だけが対象のような印象を受けませんか？

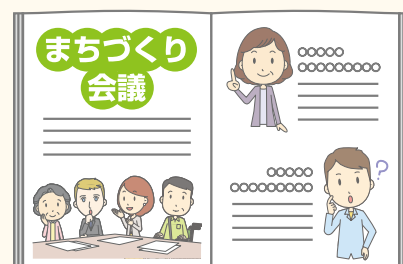
スタッフ募集



男性だけ、女性だけが登場していませんか？

男女どちらにも伝わるように

スタッフ募集



全体を通じ、男女がバランスよく登場するか多様な描写となっているか、注意しましょう



▶ 多様な生き方や個性を描きましょう

現実には、性別に関係なく、さまざまな分野で男女が活躍しています。また興味や性格、行動は人それぞれであり、性別だけで決まるものではありません。「男は仕事、女は家庭」「育児・介護は女性の役割」といった性別による固定的な役割分担を強調したり、この仕事は女性向き、男性向きなどと常に性別で職業を分けたりしないで、男女の多様な生き方や個性を表現しましょう。

家庭



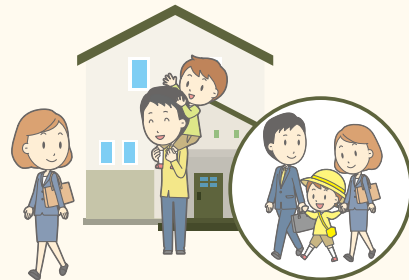
家事をするのは、いつも女性？



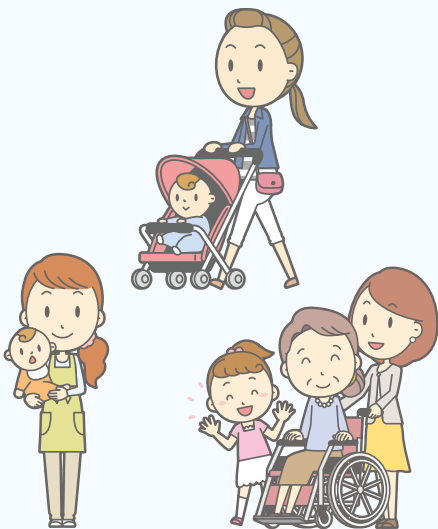
家事は、家族で分担している様子を描きましょう



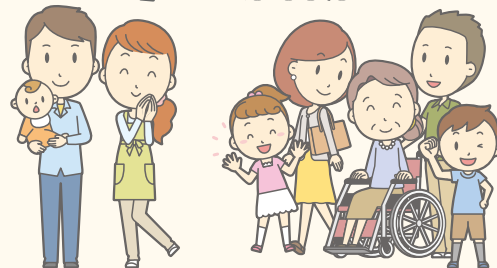
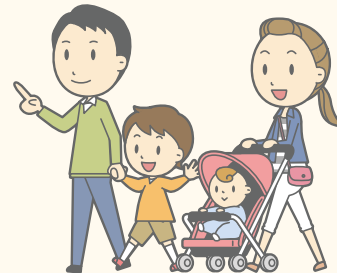
いつも「男は仕事、女は家庭」？



たくさんの女性が働いています

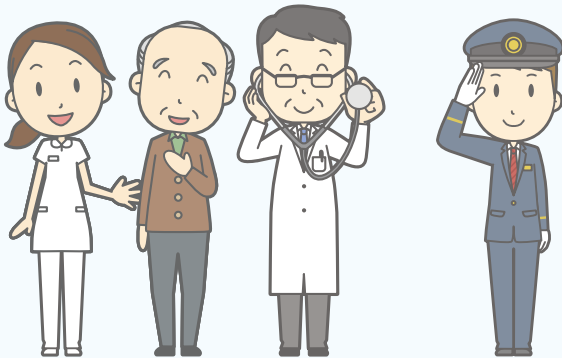
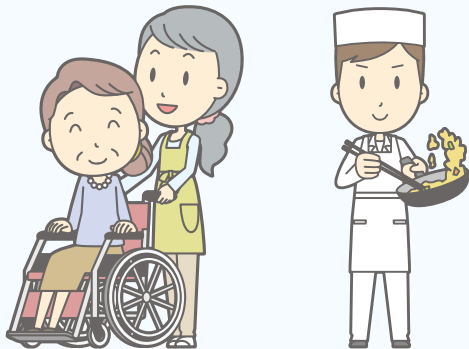


子どもを連れていたり、
介護するのはいつも女性？

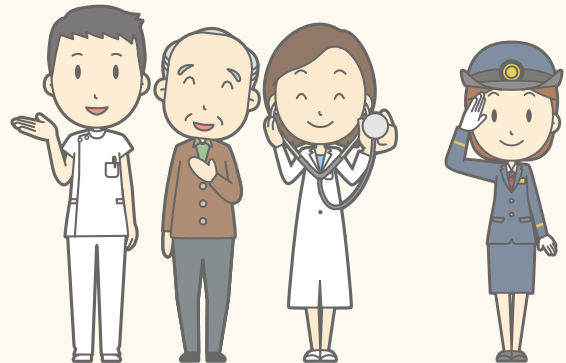
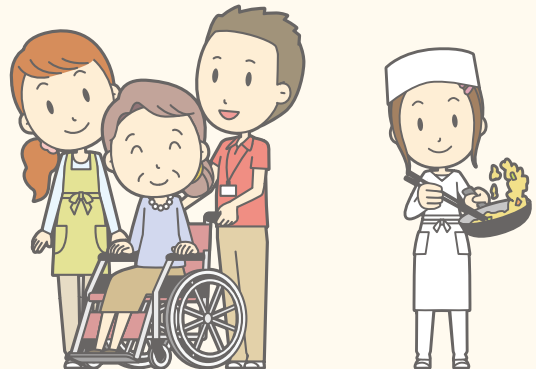


男性も積極的に子育てや
介護をしている姿を描きましょう

職業

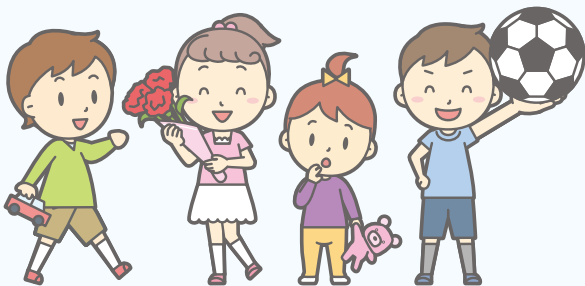


性別で職種を固定していませんか？



さまざまな職種で男女が活躍しています

興味 行動



男性はいつも活発、女性はいつも控えめに



個性はもっと多様です

3

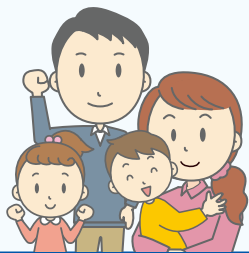
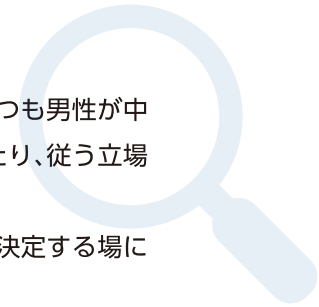
男女を対等な関係で表現していますか？



▶ いつも男性が中心になっていませんか？

「男が主で、女が従」というように男女を上下関係で表していませんか？ いつも男性が中心や前だったり、指導的な立場で、逆に女性は、いつも周りや後ろに控えていたり、従う立場になっていませんか？

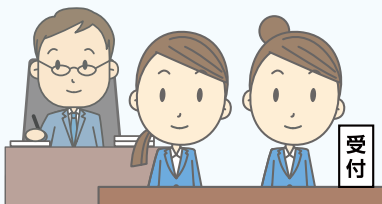
男女は、対等な関係です。女性がリーダーとして活躍している様子や方針を決定する場に参画している様子を描くなど、男女の対等な関係を表現しましょう。



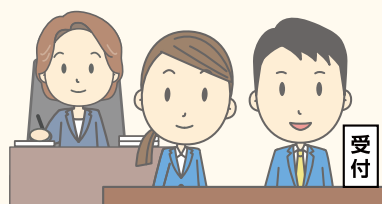
男性はいつも大きく中心？



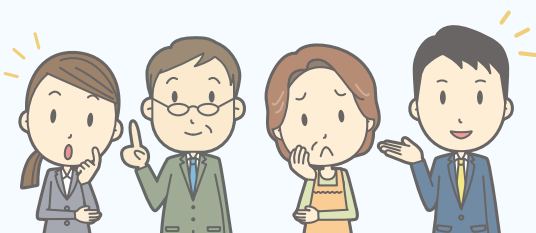
男女の対等な関係を表現しましょう



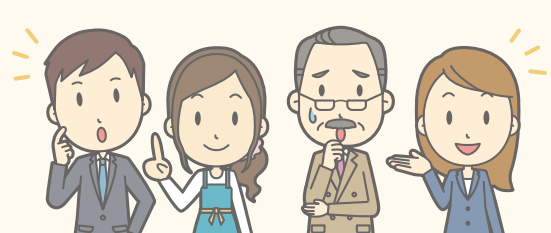
重要なポストはいつも男性で
女性は補助的な役割？



男女がともに積極的に参画する
様子を描きましょう



たずねるのはいつも女性、教えるのはいつも男性？



地位や立場も様々です



いつも強者や加害者は男性、弱者や被害者は女性？



男性が被害者のときもあります

4

人の目を引くために、女性をむやみに「飾りもの」にして使っていませんか？



伝えたいことは何ですか？

伝えたい内容とは関係なく、にっこり笑う女性や女性の身体の一部を強調したものをポスターなどで使う場合がありますが、それでは伝えたい内容が十分に反映された表現とは言えません。

内容とは無関係に、親しみやすさを増すためや、単に人の目を引くために、女性をむやみに「飾りもの」扱いすることなく、「伝えたいことは何か」を考え、より効果的な表現方法を工夫しましょう。



伝えたい内容と関係はありますか？

5

男女で異なった言葉を使っていませんか？



ふだん何気なく使っている言葉のなかにも、男女を必要以上に区別したり、男性優位の考え方が根底にあるかのような表現が見受けられることがあります。男女共同参画の観点から、その表現をあえて用いる必要があるのか十分に注意し、男女いずれに対しても使える他の言葉を探すなどの工夫をしましょう。

●男性、女性に偏った言葉

(例)・父兄	(例)・保護者
・サラリーマン、OL キャリアウーマン	▶ ・会社員
・カメラマン	・写真家、撮影スタッフ

※既に欧米では、「～マン(man)」を「～パーソン(person)」に替えたり、新たな言い方をつくるなどして、男女双方を含む言葉を使用しています。

●「女性」を冠する言葉 （「女性〇〇」、「女〇〇」）

(例)「女性弁護士」、「女性社長」
男性は「社員」、女性は「女子社員」

男性が一般で、女性は例外・特殊だという印象を与えます。女性であることをあえて示す必要があるかどうか注意しましょう。

●男性または女性だけに使われる言葉

(例)「女だてらに」「男まさり」
「才女」「女史」「女の腐ったような」
やさおとこ
「優男」「熱血漢」

例えば「男だてらに」という言い方はしません。「対になる表現があるか」注意し、男女いずれに対しても使える他の言葉を探すなどの工夫をしましょう。

●女性が男性より劣ることを前提とする表現

(例)男性顔負けの活躍
女性でも簡単にわかる

たとえ、ほめ言葉であっても、他の言葉を探すなどの工夫をしましょう。

●名前の敬称を男女で区別する表現

(例)男性は「〇〇氏」、
女性は「〇〇さん」

「〇〇氏」、「〇〇さん」のどちらかに統一するなど、同一広報では同一の敬称を心がけましょう。



印刷する前に、
もう一度チェック！

1 男女どちらにも伝わりますか？ 男女が登場していますか？

→P2

- 男女が対象なのに、男性だけ、女性だけが対象であるかのような表現になっていませんか？
- 全体を通じ、男女がバランスよく登場しますか？ 多様な描写となっていますか？

2 性別でイメージを固定していませんか？

→P3

- 家事や育児・介護をしているのは、決まって女性になっていませんか？
- 男女とも就業可能な職業であるにもかかわらず、性別で職種を固定していませんか？
- いつも男性は活発、女性は控えめなイメージで描いていませんか？

3 男女を対等な関係で表現していますか？

→P5

- いつも男性を大きく中心に描いていませんか？
- 重要なポストや役割は男性、補助的な役割は決まって女性になっていませんか？
- たずねるのは女性、教えるのは男性になっていませんか？
- いつも強者や加害者は男性、弱者や被害者は女性になっていませんか？

4 人の目を引くために、女性をむやみに 「飾りもの」にして使っていませんか？

→P6

- 伝えたい内容と関係がないのに、女性の姿や女性の身体の一部を強調していませんか？

5 男女で異なった言葉を使っていませんか？

→P6

- 男女に平等・対等な表現を使っていますか？